

アカゲザル防除通信

(2601号)

アカゲザル等防除連絡会
千葉県自然保護課
(平成26年5月14日発行)

☆25年度の除去実績は102頭を記録しました

- 平成25年度の除去実績は、102頭であり前年度実績を下回りました。
主な要因として大型檻を設置している西側地域における捕獲が進んだことにより、捕獲しやすいサルの捕獲の段階から捕獲しにくいサル（トラップシャイ個体）の捕獲の段階に移行したことが考えられます。
これは、外来種対策における進行過程のひとつであり、西側地域では、捕獲の成果を除去数だけで評価する段階ではなくなったことを意味しています。
今後も県では、個体数を抑制し、生息域を縮小し、さらに根絶に持ち込むべく努めていきます。

表1 ー 年度別除去数の推移

単位:頭

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計
除去数	2	11	112	235	267	110	240	354	102	1,433

☆26年度は大型檻を1基増設いたします！

- 今年度は、大型檻を東側地域に1基増設し、6基体制で捕獲します。
昨年度初めて発信機を装着した放獣個体が東側地域の1群と共に行動していることが判明しました。
現在、群れの行動域、高頻度利用地域等のデータ解析を行っており、解析後、大型檻建設候補地の選定に入ります。

☆交雑種も特定外来生物に指定されます！！

- 昨年度成立した改正外来生物法で、交雑種の指定も可能となったことから、国では、千葉県の房総丘陵をモデル地域に交雑調査事業を昨年度より開始しています。
県では、国の事業成果についても積極的に活用し、国と連携して交雑対策を進めています。

☆全頭捕獲はいつ頃になるのか？

○ タイワンザルが定着した和歌山県の事例では、当初約 200 頭のタイワンザル（交雑種含む）をほぼ除去するのに 11 年（H14～H24）※1の期間がかかりました。

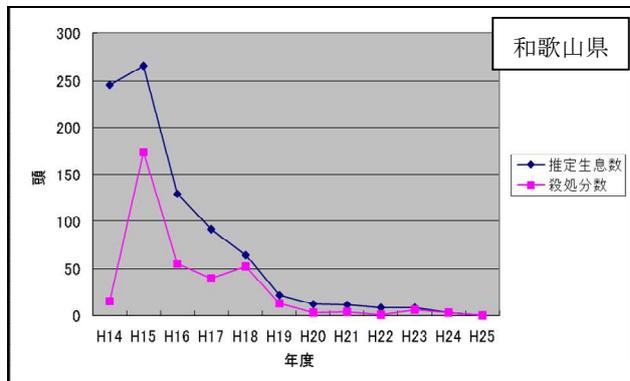
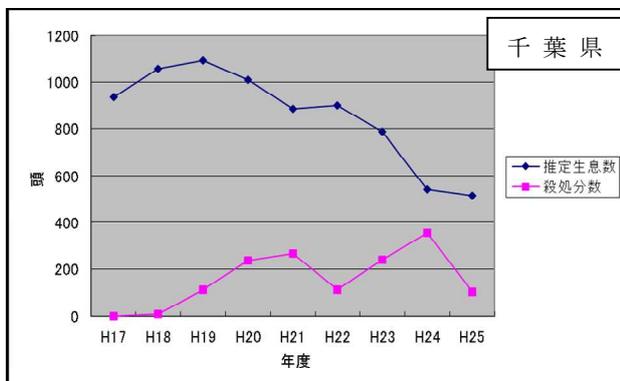
千葉県のアカゲザルは、最大で約 1,100 頭が生息していたと推定されていることや生息域も和歌山県に比較して約 3 倍もあることから、根絶には暫くの間かかるものと想われます。

しかし、これまで生息状況が不明であった北側及び東側地域についても群れの特定が進んでいることから、一層の捕獲に努め、一刻も早い全頭捕獲を目指しています。

表 2 - 生息実態の比較

地 域 名 (種)	千 葉 県 (アカゲザル)	和歌山県 (タイワンザル)
生 息 域 (k m ²)	約 40	約 14
除 去 数 (頭)	1, 433	366
推 定 生 息 数 (頭)	約 500 ※2	0

グラフ - 推定生息数と殺処分数の推移



※1 和歌山県では、根絶判断に必要な期間（5年【仮の根絶宣言】＋5年【真の根絶宣言】）を10年としており、現在、仮の根絶宣言のための判断期間の2年目に入ったところです。

※2 平成23年度調査報告書の推定生息数を基準とし、除去頭数（安楽殺数）と増加率（和歌山県のタイワンザル増加率1.14を準用）から再計算。なお、把握できていない群れが生息している可能性があり、調査の進展により再度修正する場合があります。

このチラシに関する問合せ先

千葉県環境生活部自然保護課鳥獣対策班

043(223)2058

アカゲザルの目撃情報、被害状況についての連絡や防護柵についての問い合わせ先

館山市にお住まいの方：館山市農水産課

0470(22)3397

南房総市にお住まいの方：南房総市農林水産課

0470(33)1071

